

★ 避難時必ず持ち出せるよう
いつも携帯しましょう★

災害用療養情報手帳について

- ★災害時の混乱した中では、患者さんの医療や療養生活の情報を正しく伝えることは極めて困難です。
- ★日頃から、最低限の情報をこの手帳にまとめておき、災害時には「協力者」となる方にも読んでもらいましょう。
- ★避難時に必ず持ち出せるよう、ご本人や介助者がいつも携帯しましょう。
- ★健康保険証やお薬手帳とあわせて携帯すると便利です

災害対策用

療養情報手帳



氏名	(男・女)
生年月日	明治・大正・昭和・平成 年 月 日生
住所	
TEL	
コミュニケーション 他	会話・筆談・文字盤・意思伝達装置 ()
移動	杖・車椅子・スリッパ <注意点>

<本人情報>

病気と症状について

です。

私の病気は

<連絡先>

かかりつけ医	
医療機関名	
TEL	
医療機関名	
TEL	

家族・親戚	
氏名(続柄)	()
TEL	
氏名(続柄)	()
TEL	
氏名(続柄)	()
TEL	

関係機関(TEL・担当者)	
介護支援専門員 (ケアマネージャー)	
訪問看護	
訪問介護	
通所介護	

<災害用伝言ダイヤル>

★伝言を録音する場合

「171」-「1」-『自宅』又は『連絡を取りたい被災地の方』の電話番号を

市外局番からダイヤル

★伝言を再生する場合

「171」-「2」-『自宅』又は『連絡を取りたい被災地の方』の電話番号を市外局番からダイヤル

※ 災害発生後30分～1時間ほど使えない



私の避難場所は

1. _____

2. _____

*ハザードマップを参考に具体的な避難場所を家族と相談しましょう。

お薬について

★お薬の説明や最新の手帳のコピーを貼りましょう★

かかりつけの薬局 ()

TEL ()

